発刊によせて

国立歴史民俗博物館（以下，歴博という）は，日本の歴史と文化に関する研究を組織的かつ持続的に推進するために設置された大学共同利用機関（1981年，「国立大学共同利用機関」として発足）です。多様な歴史資料にもとづき，文献史学・考古学・民俗学および自然科学を含む関連諸学の学際的研究を通じて，現代的視点と国際的な視野のもとに，日本の歴史と文化に関する基礎的ならびに先端的な研究を推進しています。

特に，設立当初から一貫して，博物館でもあるという独自性を生かしながら研究を進め，83年には，第１，２展示室を開室し，順次常設展示を広げていきました。以来，一貫して，「歴史系博物館を持つ大学共同利用機関」という，世界でも類例を見ない形態の 研究機関として，歴史資料・情報の収集，整理，調査研究，そして提供という一連の機能を有することを最大の特色としているだけでなく，その特性を活かし「研究」「資源」「展示」の３つの機能を有機的に連携させた独自の研究スタイル「博物館型研究統合」を実践してきました。

また，大学共同利用機関として，そのすべての機能を国内外の大学等研究機関，および研究者と連携・共有するとともに，これまでにない新しいタイプの学際的な日本歴史研究者を育成することが可能な研究・教育の場だと言えます。そして，次代を担う研究者を育成し，広く国内外の人々に日本の歴史と文化への理解を促進しています。

さて，世界は激動の時代です。国家のあり方や国家間の関係性の枠組みが激しく揺れ動いているだけではありません。技術革新が誰も想像もしなかった方向へと急速に変化し，環境破壊や経済格差が進み，さらに今回の新型コロナウイルス感染は世界システムそのものの矛盾を露呈させその影響は甚大です。

人間とは矛盾に満ちた存在です。文学，芸術，そして動物には絶対にまねできない，人類自身，自分たちの歴史そのものを知り，未来を考える歴史学という文化を生み出しました。一方で，例えば戦争や環境破壊を生み出しました。

しかし，今回の新型コロナウイルス感染拡大によって私たち人文系の学問が考えるべき課題は，かえって明白になったように思います。この矛盾にみちた人類が，どのような過程をへて生み出されたのかを，人類そのものの歴史から考え直し，「人類の歴史を広い視野でみる力」を養う必要があると思います。

さらに，今，歴博だけでなく，大学・大学共同利用機関を取り巻く状況は，ますます厳しくなっています。必要なことは，人文学の役目である，短期的な成果や目先の利益につながりそうにはないけれども，人間やその社会そのものを見つめなおすためには，歴博が有するような学問の多様性と幅広さが必要です。

人文学研究については，今後，人文学ならではの役目を正当に評価できる基準だけでなく，人文学の役割を広く周知し，研究者だけでなく一般の市民の方にも理解していただく必要があると考えています。おそらく幅広い賛同を得なければ，人文学や基礎的な諸科学は長期的には衰退していくでしょう。

歴博は，日本の歴史と文化に関する総合的・先端的研究を推し進め，また大学をはじめとする研究者のための共同利用機関としての責務だけでなく，その成果を広く一般市民にもわかりやすく公開する努力を，館員と共に努め，今後も全力で邁進していきたいと思っております。ご支援ご協力をお願いいたします。

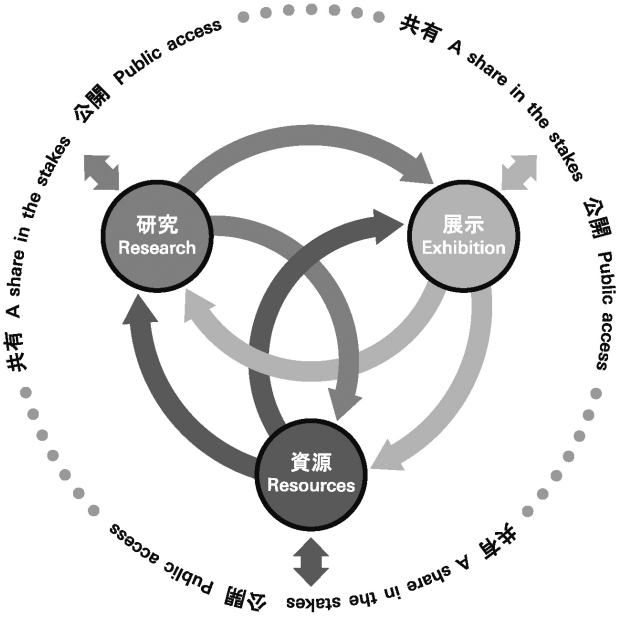
本年報は，このような歴博の一年間の活動報告です。博物館という形態の大学共同利用機関としての歴博が，上記に掲げた理念や機能を十分に発揮できたかどうか，検証できるようにするために作成したもので，以下のような構成になっています。活動状況全般にわたって幅広い分野の方々にそれぞれの視点からご検証・ご批評いただきたいと思います。

第一部　研究編
　Ⅰ．研究・調査活動　―研究推進センター―
　Ⅱ．資料の収集・研究成果の公開　―博物館資源センター―
　Ⅲ．研究と広報・社会連携　―広報連携センター―
　Ⅳ．大学院教育
　Ⅴ．教員の研究・調査活動
第二部　事業編

国立歴史民俗博物館長　西　谷　　大

歴博のめざすもの ―博物館という形態の大学共同利用機関として―

日本の歴史と文化の研究
　―未来を切り拓く歴史的展望の獲得と，歴史認識を異にする人々の相互理解を実現する―
博物館型研究統合の推進
　―博物館という形態を活かした新しい研究スタイル―
共同利用性の充実
　―研究資源・研究過程・研究成果を国内外の研究者と共有する―
新しい研究者の養成
　―博物館型研究統合を担う人材―
日本の歴史と文化への理解の促進
　―多様な歴史像と柔軟な歴史認識を国内外のすべての人々に提供する―



　国立歴史民俗博物館は，日本の歴史と文化に関する研究を組織的かつ持続的に推進するために設置された大学共同利用機関である。その使命は，人類の歴史的営為が複雑に絡み合った現代社会において，未来を切り拓く歴史的展望の獲得と，歴史認識を異にする人々の相互理解の実現に寄与することにある。

　歴博は，歴史資料・情報の収集，整理・保存，調査研究そして提供という一連の機能を有することを最大の特色としている。これらの機能を有機的に連携された博物館型研究統合によって，有形無形の多様な資料に基づき，文献史学・考古学・民俗学及び自然科学を含む関連諸学の学際的共同を通じて，現代的視点と世界史的視野のもとに，日本の歴史と文化に関する基盤的並びに先進的研究を推進する。大学共同利用機関として，そのすべての機能を国内外の研究者と共有するとともに，次代を担う研究者を育成し，それらの活動を通じて広く国内外の人々に日本の歴史と文化への理解を促進する。